



防災と男女共同参画



多くの尊い命が失われ、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災や東日本大震災。そして去年は熊本地震が発生しました。発災後、被災者に対する物資の提供、避難所の運営等に関して、男女共同参画の視点から様々な問題が浮かび上がってきました。これらの経験は、防災・復興における男女共同参画の視点の重要性を改めて認識する契機となりました。

内閣府は、平成 25 年 5 月に「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を作成・公表しています。これは、男女共同参画の視点から必要な対策・対応について、地方公共団体が取り組む際の基本事項を示したものです。

《取組指針における 7 つの基本的な考え方》

- 平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる
- 「主体的な担い手」として女性を位置づける
- 災害から受ける影響の男女の違い等に配慮する
- 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
- 民間と行政の協働により男女共同参画を推進する
- 男女共同参画センターや男女共同参画担当部局の役割を位置づける
- 災害時要援護者への対応との連携に留意する

避難拠点の運営は、男女両方が参画。男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズの違いへの配慮が必要

避難所 + 防災拠点

避難拠点

(区立小・中学校 99 校)

避難拠点では、限られた場所で多くの人々が共同生活を送るため、お互いが助け合い、ゆずり合うことが大切です。

これまでの大きな地震では、女性や子ども、障害者、高齢者等への配慮の不足が大きな問題となりました。



更衣室や授乳室の設置、育児スペースや障害者のためのスペースなどの確保、また、誰もが安心して使える仮設トイレの設置などが必要です。

また、避難者情報の公開に際しては、DV やストーカー被害を受けている方に配慮します。



授乳室

人目につかない物干し場

安全なトイレ

練馬区の避難拠点の主な備蓄物資 (1 拠点当たり 700 人の避難者を想定)

物資名	数量	物資名	数量	物資名	数量
クラッカー	1,400 食	子供用紙おむつ	564 枚	L E D 投光器	6 基
アルファ化米	700 食	大人用おむつ	330 枚	コードリール	3 台
調整粉乳	21 缶	生理用品	964 枚	懐中電灯	5 個
アレルギー疾患用ミルク	1 缶	ガーゼ	282 枚	ろ過器	1 基
保存水(乳児用)	48ℓ	三角巾	70 枚	組立式トイレ	3 台
保存水(飲用)	2,100ℓ	かまどセット	4 台	携帯トイレ	700 枚
組立水槽	3 基	加工薪	50 kg	トランジスタメガホン	2 個
ポリ容器	240 個	炊飯用バーナー	3 基	スタンドパイプセット	1 式
毛布	700 枚	発電機	3 台		
寝袋	700 枚	ガソリン缶詰	32ℓ		
敷物	240 枚	灯油缶詰	32ℓ		

平成 29 年度までに
順次配備予定



練馬区は、「第 4 次練馬区男女共同参画計画」の中で施策として掲げ、女性の視点・ニーズを取り入れた防災体制の強化に取り組んでいます。

練馬区「避難拠点運営の手引」(平成 28 年 1 月一部改訂版)より

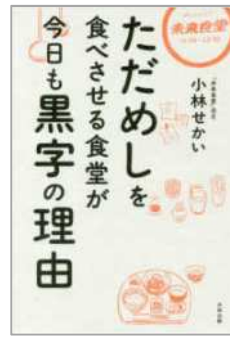




キャリアと出産

大葉ナナコ著
河出書房新社 2016

育児とは、ひとりの幸せな大人を育て、社会に還すのが育児のゴールと著者は言う。本書では、働く女性の現状やワーク・バース・バランスの描き方のほか、様々な制度とそれを利用できない風土といった課題を考えていく。さらに、見落としがちな子供との愛着形成について解説。



ただめしを食べさせる食堂が今日も黒字の理由

小林せかい著
太田出版 2016

小さな定食屋「未来食堂」のメニューは日替わり1種だけ、50分の手伝いで1食無料。決算・事業書をブログで公開し、合理的経営が注目されウーマン・オブ・ザ・イヤー2017を受賞。「誰もが受け入れられ、誰もがふさわしい場所」が創業の理念。

新着図書紹介



ストーカー加害者

田淵俊彦、NNNドキュメント取材班著
河出書房新社 2016

増え続けるストーカー被害。なぜ異常なまでの執着心や支配欲を持ったストーカー加害者が生まれるのか。加害者がカウンセリングを受ける場に同席し取材した3件の事例を掲載。「私から逃げてください」と加害者は言う。彼らの心の深淵をのぞく。



N女の研究

中村安希著
フィルムアート社 2016

NPOなどの非営利セクターから営利の社会的企業までを含めたソーシャルセクターで働く女子を総称して「N女」という。高学歴や高職歴などのハイスペックなキャリアウーマンで、有名企業に就職できる実力を持ちながら「N女」となった彼女たちにインタビュー。女性の働き方・生き方を探る。



愛は戦渦を駆け抜けて

リンジー・アダリオ著
KADOKAWA 2016

アフガニスタンやイラクなど戦地取材を続け、ピューリッツァー賞など数々の賞を受賞した女性報道カメラマンの半生を綴った手記。写真1枚のために命をかけたが、伴侶も子どもももたず著者。難しい選択を何度も迫られるも、この仕事は「わたしの幸せ」と自信を持って言う、まさに諦めない半生。

テーマで読む1冊

お母さんと子どものための
防災&非常時ごはんブック
草野かおる著

災害が起こった時、あなたはどこにいる？会社？電車の中？ショッピングセンター？その時家は？子どもは？家庭での防災リーダーはお母さん！いざという時、臨機応変に素早く判断することが生き残ることにつながる。本書は、様々な状況下での対処法や非常時のごはんレシピなどを、4コマ漫画で分かりやすく解説している。(デイズガアートウエンティヴ 2014)





時代を拓いた女たち

みうら たまき
三浦 環

1884年(明治17年)~1946年(昭和21年)

三浦環は、歌劇「蝶々夫人」を演じ、国際的に活躍したプリマドンナである。

東京芝で公証人の柴田孟甫・登波の長女として生まれ、幼い頃より舞踊や長唄を習う。東京女学館で音楽の天賦を見出され、東京音楽学校(現・東京藝術大学)への進学を希望。父は女に教育は不要、まして西洋音楽は西洋芸者への道だと進学に異を唱えたが、軍医藤井善一との結婚を条件に許す。

明治33年入学した音楽学校では、声楽の指導を幸田延(作家・露伴の妹)から、ピアノの指導を滝廉太郎(作曲家)から受け、特に声楽の才能を高く評価され、在学中に日本初の歌劇「オルフェウス」の主演としてオペラデビュー。

明治37年藤井と結婚し、その後も学校に残り20代の若さで助教授となる。教え子に原信子や山田耕筰がいた。夫の仙台転勤にあたり、音楽を捨て自分に同行するよう強要されたが、環は音楽の道を選び明治42年離婚。「夫にかしづくということは、結局一人の男を幸福にすることで女として当然で誰にでもできることだが、音楽家として歌うことは社会を幸福にし、日本の文化を高めることである」と自伝に記している。離婚と東大医学部助手三浦政太郎とのスキャンダルが重なり教職を辞任するが、開場した帝国劇場の首席歌手及び専任講師となる。

大正3年音楽活動に理解を示した三浦と再婚し、ドイツに留学したが、第一次世界大戦勃発によりロ

『恋愛に対しても 芸術に対しても
まったく情熱のありつたけを傾倒しなければ、
生きてる甲斐がない。』

ンドンに渡る。名指揮者ヘンリー・ウッドに認められ、ロンドンオペラハウスで、「蝶々夫人」の初舞台を踏み大好評を得る。日本人として初めて世界に通じるオペラ歌手となり、以後世界各地で公演し、世界的プリマドンナとして活躍。各国皇帝、女王の御前演奏はもとより、4人のアメリカ大統領の前でも歌ったという。ホワイトハウスの大統領の椅子に環を掛けさせたウィルソン大統領は「もしあなたが4年間この椅子に掛け続けたら、世界の国々は音楽の力でもっと明るく楽しくなり、戦争などという悲劇は起きず、平和になるでしょう」と言ったという。作曲者プッチーニも「世界に一人しかいないマダム・バタフライ!」と絶賛。外国の人々は、環のソプラノの声を通し、美しく可憐で、優しく、哀しい日本女性の情緒を知ったのである。しかし海外での評判とはうらはらに、日本の新聞は彼女の奔放な恋愛や夫の訃報にもかかわらず海外公演を続けた非常識さをなじり批判を浴びせた。

昭和10年52歳の時、オペラの本場イタリアで「蝶々夫人」2000回上演の大記録を達成。同年帰国し「蝶々夫人」の日本語訳を完成させ、独特の振袖姿でオペラ公演や音楽家の養成に努めた。しかし太平洋戦争勃発によりオペラは敵国の歌として上演禁止となり、母とともに山中湖に疎開。

終戦後の昭和21年4月、病で衰弱した体で「蝶々夫人」を録音し、翌5月62年の生涯を閉じた。最後まで歌に心を燃やし、多彩で華麗な人生であった。

参考資料:「近代を彩った女たち」、「先駆者たちの肖像」



カストラート

オペラは、バロック期(16世紀末)に誕生して400年以上たち、豪華絢爛な総合芸術として多くの人々を魅了している。しかし当初、舞台はカストラートと呼ばれる男性のみが演じていた。聖パウロの言葉に「女は教会で黙すべし」とあり、女性は教会で説教も歌唱もしてはならないと解釈され、教会からも舞台からも排除されていたのである。カストラートは、変声期前の少年時代に去勢手術を受け、イタリア全土で4000人いたという説もある。変声期がないカストラートは、中断することなく訓練ができ、成人の強力な咽頭と肺活量による中性的な魅惑の声を獲得し、音域は3オクターブ半あったとされる。しかし19世紀には非人道的行為とみなされ、前世紀の恥ずべき記憶として歴史の闇に葬られた。以後、現在の高音の女性歌手と低音の男性歌手がオペラを演じるようになった。18世紀までのヨーロッパでは、女性の男装や男性の女装は頻繁に見られるもので、現代ほど性のあいまいさはタブーではなかったのである。

参考資料:「クラシック音楽と女性たち」



出生 初の100万人割れ

平成28年に生まれた赤ちゃんの数(出生数)が98万1千人と推計されることが、人口動態統計年間推計で分かった。前年より2万人以上減った。出生数が100万人を割り込むのは、明治32年に統計を取り始めてから初めて。背景には第2次ベビーブーム世代の女性が40歳代半ばにさしかかったことや平均的な初婚年齢の上昇がある。

育休最長2年に

厚生労働省は、現在最長1年半となっている育児休業の期間を、最長2年に延長する方針を固めた。育休を1年半まで延ばしても預け先が見つからず、離職に追い込まれてしまう保護者を救済し、女性の離職を防ぐのが主な狙い。

性犯罪被害相談 全国共通ダイヤル開設

周囲に打ち明けられずに泣き寝入りする被害者が多く潜在化しやすい性犯罪に対し警察庁は、来年度から全国共通の性犯罪被害相談ダイヤルを開設する方針を固めた。全国共通の4桁の番号を設け、被害者対策を専門とする女性警察官らが相談に応じることで、心理的な負担を軽減するのが狙い。内閣府の「男女間における暴力に関する調査」(平成26年)によると、性被害を受けた人のうち誰にも相談しなかった人の割合は67.5%。

育児・介護復職に助成金

厚生労働省は来年度、子育てや介護を理由に退職した人を再雇用し、6か月以上雇い続けた企業に助成金を支給する制度を創設。制度の対象となる離職理由は、妊娠、出産、育児、介護の4つ。また、出産や育児で仕事を辞めた女性や日中忙しい会社員向けに、インターネットを活用して学習する「eラーニング」を使った「学び直し」への支援策も強化する方針。どちらも政府の「働き方改革」の一環。

非課税世帯 保育料軽減

内閣府は来年度から低所得世帯を対象に、認可保育所などにかかる費用負担を軽くする。市町村民税が非課税の世帯(年収270万円未満)に子どもが2人以上いた場合、2人目以降は保育料を無料とする。ひとり親世帯(年収360万円未満)の保育料も軽減する。

練馬区 出張所を新たな施設へ転換

練馬区では、出張所で行っていた証明書の交付や税などの収納をコンビニや郵便局で実施するなど、利便性を高めてきた結果、出張所を平成29年3月末で廃止し、跡施設を区民の自主的な地域活動の拠点とすることとした。

女性の雇用増加

雇用者数は、平成28年11月時点で5,733万人となり、直近の4年で250万人増加。特に女性が目立ち、出産や子育てのためにいったん仕事を離れる「M字カーブ」は解消されつつある。育児休暇を取得して職場復帰する女性が増加した。また、男女ともに60代以上の労働参加率も高まっている。今後は働く意欲のある女性や高齢者を支える環境整備が課題になる。

婚姻の3割 再婚

厚生労働省によると平成27年の結婚全体のうち、夫妻の両方または一方が再婚だった割合は26.8%と約3割に上ることが分かった。夫妻とも再婚9.7%、夫初婚で妻再婚7.1%、夫再婚で妻初婚10.0%だった。夫妻とも初婚は73.2%で、長期で下落傾向にある。平均結婚年齢は、初婚同士の場合、夫30.7歳、妻29.0歳で年々晩婚化している。

親族間の暴行事件増加

配偶者や親子など親族間で発生した暴行事件が、平成28年は6,148件に上り、全体(2万5,321件)の24.3%を占めた。平成19年からの10年間で3倍以上に増加。DV(ドメスティック・バイオレンス)や虐待の増加が要因とみられる。

強姦罪 名称変更、非親告罪化

法務省は、性犯罪を厳罰化する刑法改正に伴い、強姦罪の名称を「強制性交等罪」に変更する方針を固めた。これは、強姦罪の「加害者は男性、被害者は女性」という性差をなくすなどとした改正案の内容を踏まえたものである。また、強制わいせつ罪とともに、被害者の告訴がなくても加害者を起訴できる「非親告罪」化する。成立すれば、明治時代から続いた罪名がなくなる。

ひきこもり 高年齢化

「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」が平成28年11月～平成29年1月に実施した調査によると、引きこもりの相談を受け付けている全国の自治体の窓口で、40代の引きこもりへの対応経験があるとの回答が62%に上ることが分かった。50代も多く、引きこもりの高年齢化の深刻な状況が明らかになった。

改正ストーカー規制法成立

改正ストーカー規制法が成立し、新たにSNSやブログへの執拗な書き込みも「つきまとい行為」の対象になった。改正前は「つきまとい行為」の対象が電子メール・電話・ファックスに限定されていた。ストーカー被害の相談は昨年、2万1,968件に上った。平成29年6月14日に全面施行予定。

